

今号の主な記事

- ◇年末年始のごみ収集5面
- ◇上甲子園市民サービスセンターで
12月から住基カードの受付開始 ...2面
- ◇保育所来年少4月入所の申込受付3面
- ◇保健だより12面



分かりやすい授業へ

ICT活用 学校で広がる

情報通信技術

社会のICT(情報通信技術)化が進展する中で、子どもたちが情報を主体的に活用できる能力などを高めることが重要となっています。市は昨年度、国からの補助金を活用し、市立小・中学校等に大型テレビやパソコン、電子黒板といったICT機器の整備を行いました。これらの機器を効果的に活用することにより、子どもたちにとって分かりやすい授業を行い、確かな学力の向上に取り組んでいます。また教職員の校務の情報共有や効率化を進め、子どもたちと向き合う時間の確保に努めています。問合せは学校情報推進グループ(0798・35・3884)へ。

専用ペンでパソコン画面に漢字の書き取りを始めると、いきいきと学習に励んでいました。興味が高まると、子どもの可能性は無限に広がります

子どもと向き合う時間を確保

小・中学校

機器の普及で 学習効果アップ

学校ではパソコン教室とともに普通教室でも、ICT機器を使った分かりやすい授業の実現に向けて取り組んでいます。現在、全ての市立小中学校の普通教室には、50インチの大型デジタルテレビやノートパソコン、書画カメラなどがあります。書画カメラは実物投影機とも呼ばれ、手元の教科書などを拡大してテレビ画面に映すことがで



教室にやってきた電子黒板。授業は様変わりし、学習効果が高まっています

きます。また、市立中学校には各学年に1台ずつの大型テレビとプロジェクターやノートパソコンを配備しています。ICT機器等を授業では次のように利用しています。

インターネット

グループ学習で世界の国の特徴をホームページで検索して調べています。その国の言葉を音声として聞くこともできます。

パソコン

テレビに接続して、黒板では表現しにくい図形の変化の様子をアニメーションで見せます。

移動用パソコン

手書きができる持ち運び可能なタブレットパソコンを使い、漢字の読みや書き取りを練習しています。専用ペンを使うので鉛筆のように書くことができます。

電子黒板

自由に拡大・縮小、色分けができるなど一層視覚に訴えかける授業ができます。また分度器の使い方の学習では、画面に直接手で触れて線を引いたり角度を記入したりします。

大型テレビ

顕微鏡を接続して、メダカの卵の成長の様子を大きく映し出す。血液の流れる様子や動き回る様子が分かります。

情報共有・効率化を促進

職員室には教職員1人に1台のパソコンを配備しました。校務の情報共有化・効率化を図ろうと校務支援システムの導入を順次、行っています。これにより、子どもたちと向き合う時間を少しでも多く確保

し、教員が子どもたちへの理解を一層深めていくことに役立てていきます。なお、校務支援システムはインターネットと区分した専用回線の利用やICカードによる認証などの厳重なセキュリティ対

情報モラル教育を充実

ICTを有効に活用するためには、これらを実際に使った授業を進める教員の理解と専門性を高めることが重要になっていきます。そのため、市はICTを授業

で効果的に活用できることを目指した実践研究や研修会を企画しています。また、子どもたちへの情報モラル(情報を適切に扱う態度)教育を充実させることも大切に

す。年間指導計画に基づき、情報モラルを養う指導を行っています。さらに、地域や家庭との連携の下に、地域団体の研修会等で情報モラルの啓発も進めています。子どもたちの生きる力を高めるために、体験活動も重視しつつ、ICT活用を進めていきます。